

2022.06.21 シニアクラブ Online 会合報告

今日は夏至、一年で昼が一番長い日です。今回も国歌をテーマに開催しました。

今回はロシア国歌の変遷を調べ、その曲や歌詞の時代背景を調べてみようとなりました。参加者は9名。



先月の会合で「英国国歌のメロディーがかつてのドイツ帝国でも使用され、その他の国でもいろいろと利用されているということを知った、」と報告しました。その後調べていくとロシア帝国でも最初の国歌にこのメロディーが使われていることを知り、国の体制が帝国時代のロシア、ソ連、そして現在のロシア共和国と変る中で、国歌の曲や歌詞の変化を眺めてみました。

<http://www.jvc-senior.com/20220619russia.pdf> 【ロシア国歌の変遷】参照

先代が創らせ、ツァーリ（皇帝）を称える歌詞でありながら、世代交代した愛国心の強い次の皇帝が毎回英国のメロディーを聞かされることにうんざりして曲も歌詞も変更させたことや、ロシア革命で皇帝

が一転して吸血鬼呼ばわりされるような歌詞になり、現代ではプーチン大統領が、ソ連時代を思い起こしてか曲を昔に戻させたとか、ロシアはほかの国と比べて国歌の変更が多い国とされているようです。

続いて、宮田さんから「君が代」について説明がありました。歌詞は平安時代の古い短歌で、江戸時代は祝い唄として用いられたこと、明治に入って曲が加えられ現在の形となったこと、それが、戦時中には「愛国行進曲」などと共に国民鼓舞のために使われたことなどの紹介がありました。そこから話は円覚寺の座禅・写経の話に飛び、般若心経の絵文字の紹介となりました。話の転換点は記憶していませんが、この会合におけるテーマや会話の脱線は大いに歓迎されるようです。 <http://www.jvc-senior.com/20220622sutra02.pdf> 参照

本日のトリはまたまた浅見さんのギター片手の子守歌シリーズでした。

「竹田の子守歌」「五木の子守歌」は守子の歌というもので、幼子をあやし、寝かせつけるものではなく、歌う本人が置かれた今の環境から早く脱したい、という意味が込められていると。

国歌と子守歌との関連がよくわからなかったけれど、この歌を静かに聴いていると守子の気持ちがひしひしと伝わってくるものでした。

<https://youtu.be/hxhst2zq7u4> をご覧ください。

夏至が過ぎて真夏はこれから。真夏の暑さの中で節電要請など出てくるかもしれません。身体には十分に気を付けましょう。

次回 令和4年（2022年）7月26日（火）14:30～ 開催です。

2022.06.22 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周



本日は「子守歌」
忘れて久しい母のやさしい手を思い出せるでしょうか

- ・江戸子守歌
- ・中国地方の子守歌
- ・島原の子守歌
- ・竹田の子守歌
- ・五木の子守歌
- ・シューベルトの子守歌
- ・モーツァルトの子守歌
- ・赤城の子守歌

別格